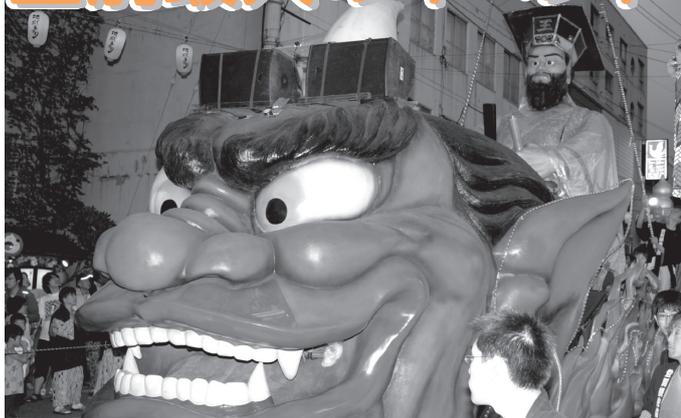


登別最大のイベント、ことしも大盛況

8/29・30

第52回登別地獄まつり



▲大迫力の「閻魔大王からくり山車」



▲大人も子どもも楽しんだ「鬼踊り大群舞」



▲湯かけでますます盛り上がりを見せた「鬼みこし暴れ練り込み」



▲まつり特設舞台では、勇壮な和太鼓演奏も行われた

8月29日(土)・30日(日)の2日間に行われ、登別温泉で『第52回登別地獄まつり』(市、登別観光協会主催)を開催しました。

登別地獄まつりは、毎年8月の最終土曜日と日曜日に、登別温泉の地獄谷から地獄の釜のふたが開き、閻魔大王が鬼たちを引き連れて登別温泉を訪れるという伝説をもとにした、多くの観光客が集まる登別最大のイベントです。

祭りは、巨大な『閻魔大王からくり山車』の登場で幕が開きました。

日が落ちてくるにつれて、登別温泉街を埋め尽くした観光客の熱気は高まっていき、『鬼踊り大群舞』では祭りの熱気に酔いしれた多くの飛び入りの方も加わり、参加者の心も一つになって踊りを満喫しました。

興奮も冷めやらぬ中、『鬼みこし暴れ練り込み』が始まり、巨大な鬼の像を乗せた男みこしと女みこしが温泉街を勇壮に練り歩く姿に、観客から多くの歓声が上がリ、祭りは最高潮の盛り上がりを迎えました。



▲提言書を市長へ手渡す中川委員長

市民からの思いを込めて 登別市総合計画第3期基本計画 市民検討委員会提言書提出

8/27

8月27日(木)、登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会から、登別市に提言書が提出されました。

同委員会は、市民41人による6つの部会で組織され、市が策定を進めている『登別市総合計画第3期基本計画』に向けて、1年5カ月に行われ計84回の部会を開催し、熱のこもった議論を重ねてきました。

中川弘誓委員長は「私たちの思いをしっかりと受け止めていただきたい」と述べ、長きにわたる議論を経て取りまとめた提言書を、小笠原市長に手渡しました。